

こどもエコクラブ ハピネス Happiness

卒業してもエコやろう！



小学校で学んだエコ活動、中学生になってもやろうや！
野市小を卒業した同級生を中心に、中学生8人で活動するこどもエコクラブ「Happiness」を紹介します。

無理せず楽しもう



「続けてやろうー」。誰からともなく話が出た。野市中学校以外の学校へ進学した友達や、中学校で出会った新しい仲間も加わり、2年生の女子4人、男子4人で、こどもエコクラブ「Happiness」を結成！

でも中学生は、結構忙しい。部活もあるし、違う中学へ通っている仲間が全員そろうのは難しい。だから「できる時にしよう。できる人がしよう」。無理をしないで、エコを楽しもうと確認し合った。土曜日などに、エコクラブのサポーター（小学校時代にエコ活動を学んだ時久校長先生）のいる、香南市教育支援センターを拠点に活動している。

森も川も海もハッピーに

「自分たちができるエコ」を話し合っているうちに、身近にある川の汚れが話題になった。森林総合センターの方や、高知大農学部の話から、私たちの命の川、物部川の危機的な状況を聞いた。源流域で起こっているシカによる大変な食害。森

林が荒らされ、そのため川が荒れ、海が荒れる。驚いた。「物部の森に豊かな生態系を取り戻そう！」。活動テーマが決まった。

担当/島崎則彦

啓発パネル作り

テーマは大きい。実際に自分たちで何ができるのだろう。悩んだ。サポーターから「まず、シカの食害に気づいてもらうことから始めたら？」とアドバイスされた。そうだ。まずは「啓発」から始めよう。



源流域の森林と香南市は物部川を通して深いつながりがあること、その山がシカの食害などで生態系のバランスが崩れ、危ない状況にあること…。分かりやすく目を引くように写真をふんだんに使って一枚のパネルに仕上げた。

たくさんの人に読んでもらうために、市役所のロビーに置いてもらった。学校や保育園でも見てもらえるようなパネルも作っていかうと計画している。

私たちにできること

昨年の暮れ、いろいろなイベントで販売した手作りクッキーなどの売上金を「森林の再生のために」香南市に寄付した。

「地球を守るって大きなことだけど、私たちにでもできることや地域を動かす力になれることはたくさんある」。「楽しむエコ」を通じて少しずつ、そう分かってきた。

今はこどもエコクラブの全国フェスティバルに向けて、これまでの活動を壁新聞にまとめている。



「仲間の絆」になったエコ。

春には中学3年生になり、メンバーはますます忙しくなるが、工夫して何とか続けてほしいと思う。



左から 野里和希さん・吉岡拓海さん・家入真字さん・森田真由さん・小松美智さん・國光郁菜さん・岡本愛さん・福重成弥さん

編集後記

いよいよ香南の龍馬（井）
龍馬は日本を。私は我が家の洗濯をいたし申し候（m）
香南にも龍馬旋風が巻き起こりますように♪（S）
▼今月から広報こうなんのお手伝いをする事になりました。山中雅と申します。あちこちお邪魔すると思えますので、どうぞよろしくお願ひします！（み）

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

市のうごき (H21. 12. 31現在) ()は昨年同月対比

- 人口/33,871人
- 世帯/13,833戸 (男/16,177人 女/17,694人)
- 出生/ 20人 ■死亡/ 35人
- 転入/ 86人 ■転出/ 45人
- 対前月人口比/ 26人増

- 12月の火災・救急事故
- 火災 1件(1件増)
 - 救急 122件(1件減)
- 12月の交通事故
- 事故件数 26件(2件増)
 - 死者 0人(1件減)
 - 傷者 31人(5件増)